

「難民のいまを考える」 公開シンポジウム

AAR Japan [難民を助ける会] と関西学院大学は6月16日（金）、
ウクライナ人道危機をはじめとする難民問題について考える公開シンポジウム
（参加無料）を開催します。

世界の難民・国内避難民は昨年1億人を超え、世界人口の78人にひとりが「難民」という深刻な状況にあります。国連が定める「世界難民の日」（6月20日）に寄せて開かれる本シンポジウムでは、AAR職員によるウクライナ現地報告、来日ウクライナ避難民女性の話、学生による発表などを交えて、難民問題の現状を共有するとともに、私たちに今何ができるかを考えます。

関西学院大学西宮上ヶ原キャンパスへの来場、オンラインによる視聴のいずれも可能です。学生・社会人などどなたでもご参加いただけます。多くの皆さまのご参加をお待ち申し上げます。

日時	2023年6月16日（金）15時10分～16時50分
会場	関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス 中央講堂
共催	関西学院大学 人権教育研究室／AAR Japan [難民を助ける会]
後援	関西学院大学 総合政策学部及び国連・外交統括センター/読売テレビ放送
参加	無料 ＊難民支援へのご寄付をお寄せください。 ・オンライン参加は事前申し込みが必要です。 ・会場参加の方は直接会場へお越しください。
登壇者	・関西学院大学総合政策学部教授 清水康子（国連難民高等弁務官事務所元職員） ・AAR Japan東京事務局 中坪央暁 ・来日ウクライナ避難民 ヴァシルチェンコ・ヴァレリア ・関西学院大学総合政策学部生 神谷眞佳 他 ・モデレーター 山川友基（読売テレビ放送サステナビリティ部部長） ・総合司会 井上武史（関西学院大学学長補佐）

＊オンライン参加の方は、事前に以下のURLまたはQRコードからお申し込みください。

（5月26日（金）から受付開始）

<https://qrtn.jp/7fipsfb>

